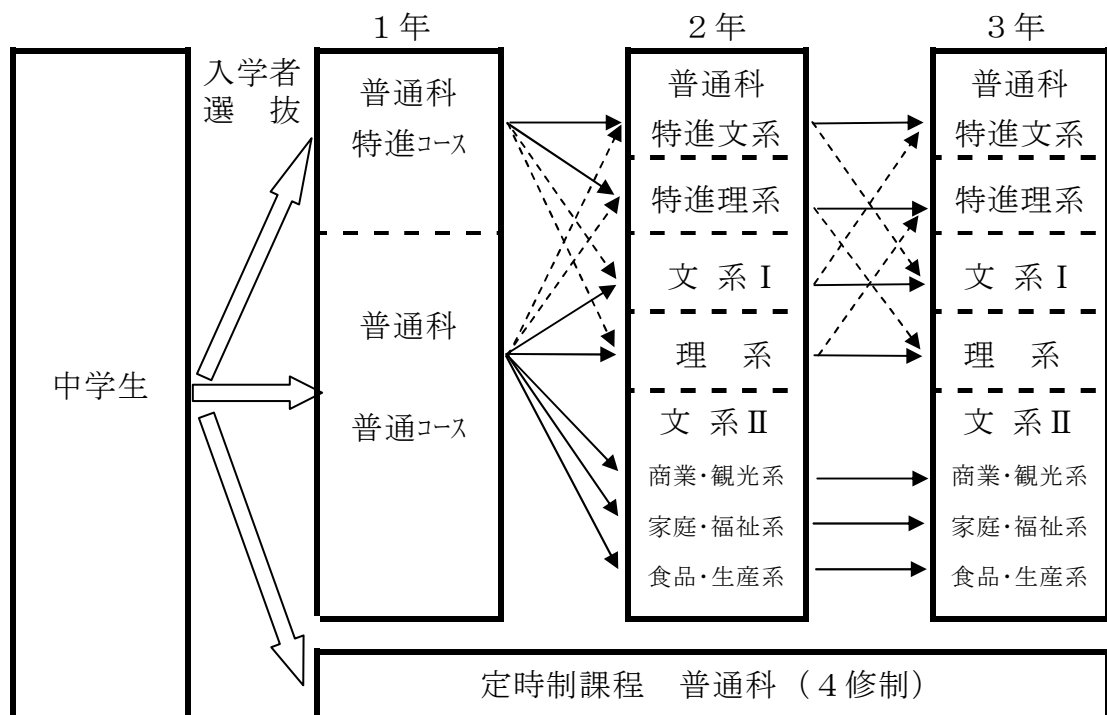


小豆地域 統合校の教育課程（素案）に関するメリット・デメリット
 （素案A）普通科をベースとして、幅広い職業系メニューを併せもつ高校



【特徴】

- ・進学に特化した「特進」コースを設定する。
- ・「特進」、「普通」コースに分けて入学者を募集する。それぞれ併願が可能。
- ・2、3年進級時に「特進」と「普通」コースの入れ替えを実施する。

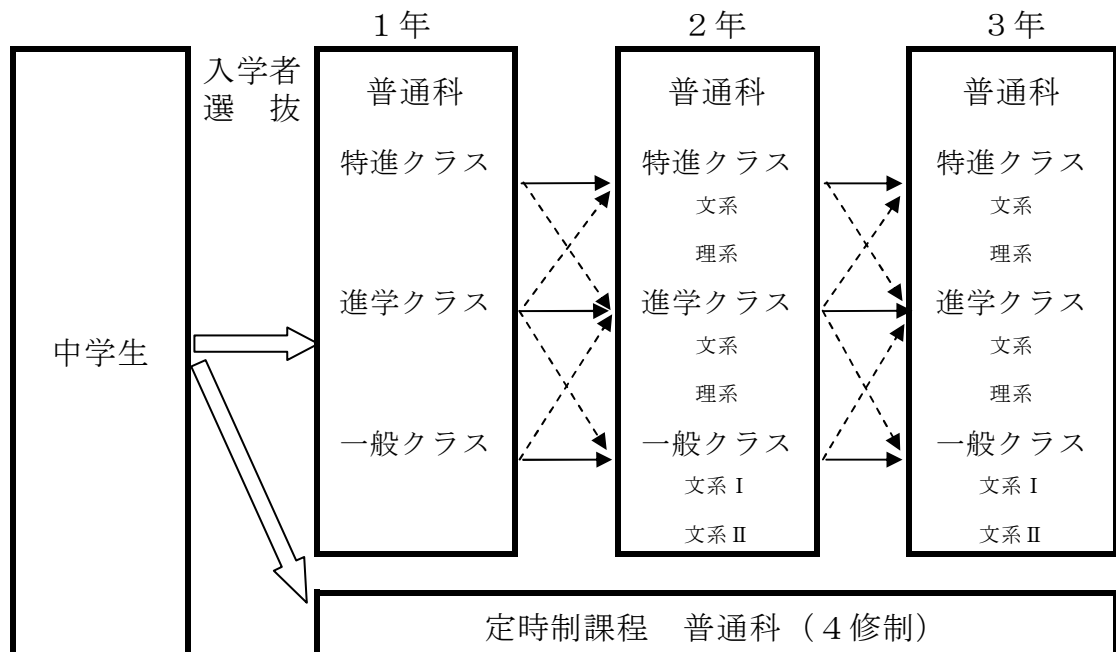
【メリット】

- ・入試段階で「特進」コースを志願することで、中学生の受験意欲が高まる。
- ・2、3年進級時にコースの入れ替えを実施するので、入学後の学習意欲も高まる。
- ・「文系Ⅱ」（職業系）コースは、多様な進路希望に対応できる。

【デメリット】

- ・進級時に「特進」コースから「普通」コースに移動した生徒の意欲の低下が懸念される。

(素案B) 普通科高校



【特徴】

- ・生徒の習熟度によって、「特進クラス」、「進学クラス」、「一般クラス」に編成する。
(入学時には、クラス分けテストを実施し、学級編成を行う。)
- ・2、3年進級時に「特進クラス」、「進学クラス」、「一般クラス」の入れ替えを実施する。
- ・職業系の教科・科目については、選択科目として開設する。
(家庭・福祉系科目、商業系科目など)

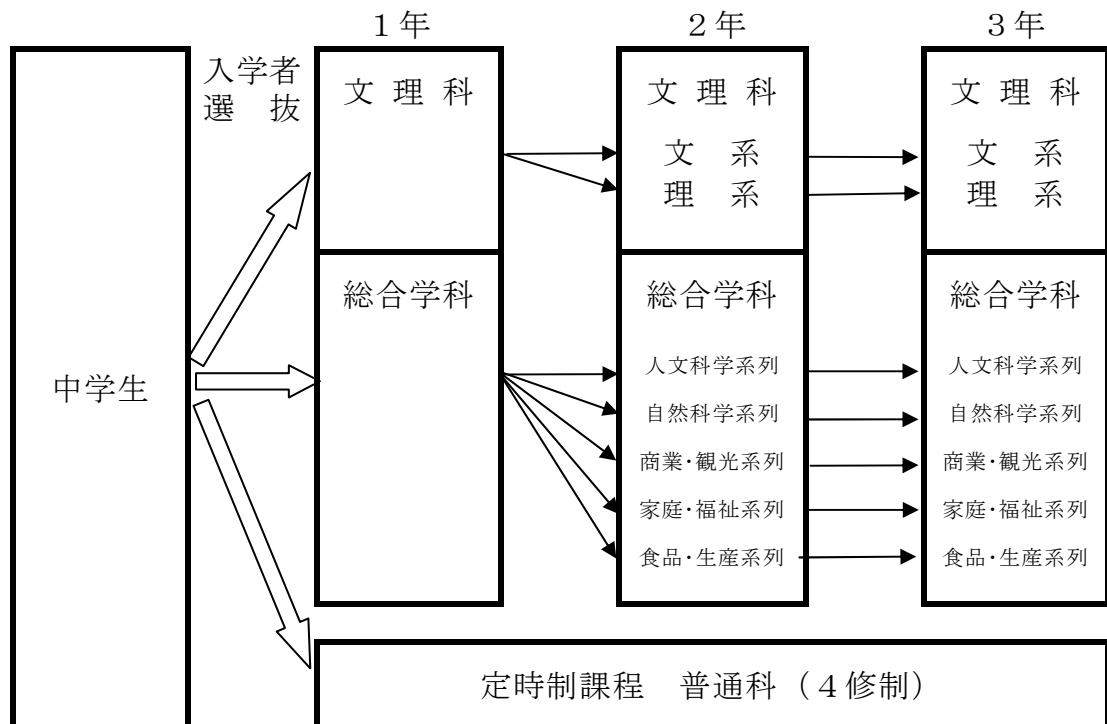
【メリット】

- ・習熟度別の学級編成により、学習を学級単位で行うため、生徒把握が容易である。
- ・2、3年進級時に学級の入れ替えを実施するので、入学後の学習意欲も高まる。
- ・習熟度別クラス編成により、基礎固めや発展学習が効果的に行える。

【デメリット】

- ・入試段階では選抜コースがないので、中学生の受験意欲の向上につながらない。

(素案C) 総合学科をベースとして、進学のための専門学科を併せもつ高校



【特徴】

- ・ 文理科（普通科系専門学科）と総合学科を併置。
- ・ 文理科、総合学科に分けて入学者を募集する。それぞれ併願が可能。

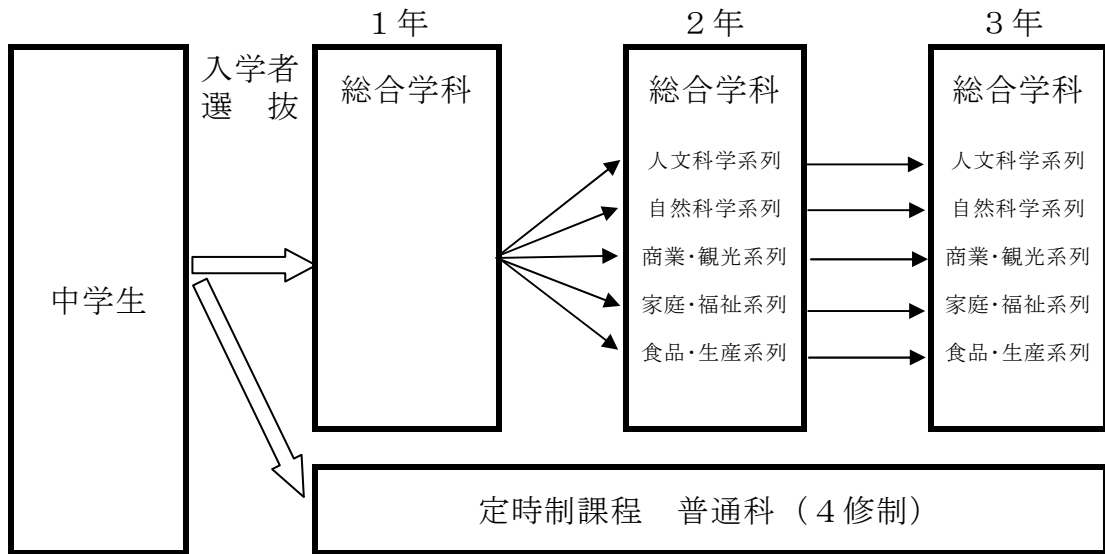
【メリット】

- ・ 大学進学に向けて、文理科で3年間一貫した教育を行う。
- ・ 文理科を志願することにより、中学生の受験意欲が高まる。
- ・ 総合学科は、多様な進路希望に対応できる。

【デメリット】

- ・ 2、3年進級時に文理科、総合学科の入れ替えができない。

(素案D) 総合学科高校



【特徴】

- ・総合学科の「人文科学系列」、「自然科学系列」で大学進学に対応する。
- ・1年次の学習を通して、自己の適性を見つけ、主体的に進路を決定することができる。

【メリット】

- ・制度としてシンプルである。
- ・要件を充たせば、大学入試の際、総合学科推薦で出願できる。
- ・多様な進路希望に対応できる。

【デメリット】

- ・入試段階では総合学科のみの志願なので、中学生の受験意欲の向上につながらない。